

とっとり 県議会だより

平成24年9月定例会

編集・発行…鳥取県議会

県議会広報紙…年4回発行

No.002

Sep.

9月
議会

主な記事 Contents

特別委員会ほか	2p
代表質問	3p
一般質問	4~6p
議決結果	7p
委員会活動ほか	8p



8月7日開催の高校生議会



高校生議会を開催

開かれた議会へ 若者が熱く議論

鳥取県の次世代を担う高校生たちが、平井伸治知事や伊藤美都夫県議会議長らに県政の課題を質す高校生議会が8月7日、県議会本会議場で催された。議論は県立高校専攻科問題から環境問題、国際関係にまで及び、白熱した議論が高校生との間で交わされた。

開かれた議会を目指して議会改革推進会議が、若い世代に県政や県議会への関心を高めてもらおうと再開を決めたもので、3年ぶりの開催。傍聴席で引率の先生や同級生らが見守る中、県内の高校と特別支援学校計12校から各1名が、担当県議のアドバイスを受けながら作成した原稿を手に登壇した。

日野高校3年の田邊祐太郎君は「若者の県外流出が進んでいる。働く場所づくりと、鳥取の魅力を理解してもらう政策が必要では」と質問。平井知事は雇用政策などを説明し、「若者の皆さんが夢を持って住んでいただける社会をつくっていききたい」と約束した。

県議会さながらの論戦も飛び出した一日となったが、事後のアンケートでは「今度は本物の議会を見てみたい」との感想もあり、参加した高校生たちには県議会が少し身近になったようだった。

9月定例会の概要

9月定例会は9月18日に開かれ、平井知事がいじめ問題の対策強化の事業などからなる総額9億2,500万円の平成24年度鳥取県一般会計補正予算案や脱法ハープ対策のための青少年健全育成条例改正案など26議案を提案した。

本会議では鳥取県議会自由民主党と会派「絆」が代表質問、26名の議員が一般質問に立ち、県政の幅広い分野で論戦を展開した。各常任委員会での審議を経て、本会議で採決した結果、予算案及び条例案など追加提案された人事案件を含む24件を原案のとおり、可決・同意した。

「ととりの豊かで良質な地下水の持続的な利用に関する条例案」は大きな環境問題で議論を重ねる必要があるとして、決算認定の2件と共に継続審査とした。議員提出議案は意見書4件、決議1件、いずれも可決され、10月12日閉会した。

谷村悠介議員が同僚議員に不適切な書簡を送った問題で、辞職勧告決議を可決。さらに谷村議員が一般質問で議長の制止を聞かずにこの問題に触れた発言を続けたことから戒告処分を科した。鳥取県議会で辞職勧告決議や懲罰勧告が可決されたのは初めて。